

秘

整理番号

繊維産業における SCM の実態に関するアンケート調査
(旧「繊維産業情報化実態調査」、旧「繊維産業取引慣行・取引条件実態調査」を統合)

平成 18 年 8 月 31 日 (木) までにご投函下さい。

注意事項

本調査は、繊維業界のサプライチェーン全体の実態を情報化、取引状況、業務高度化の各視点から把握し、貴社の業務高度化に参考となる資料の取りまとめ、及び、繊維関係団体・企業が推進する各種改善支援活動の基礎資料とするために実施するものです。

簡便にご記入頂けるよう、設問の大半は を付けるか、簡易計算で済むよう設計しております。

設問内容は、経営分野から情報システム分野まで多岐に渡っているため、必ずしもお一人の方が全ての設問にご回答いただく必要はございません。必要に応じて各担当者様毎に回答いただきますよう、よろしくお願い致します。(参考までに、各設問と想定回答者の役職の対応付けをした表を後段に整理しております。)

取引条件など、設問によっては、販売先(発注元)と仕入先(受注元)を分けてその実態を回答いただくこととなります。貴社から見た場合の販売先・仕入先については、後段の「本調査で想定している販売先と仕入先(業種別)」を参考にご判断下さい。

本調査は、本紙への直接記入とともに、電子ファイルでの回答も可能です。
電子ファイルでの回答をご希望の方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご記入いただいたデータはすべて統計的に処理し、個別企業名は公表いたしませんので、実態をありのままにご記入いただきますようお願い申し上げます。

【実施主体】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

【本件に関する問い合わせ先】

株野村総合研究所 ビジネスイノベーション事業部 森田、伊藤

Tel : 03-5533-2073

E-mail : fashion-eng@nri.co.jp

アンケート趣旨

独立行政法人中小企業基盤整備機構では、繊維産業に関する平成 18 年度「情報化導入支援事業」に関わる情報化導入教材開発の一環として、「繊維産業 SCM 推進構想策定調査事業」を実施いたします。

中小企業基盤整備機構ではこれまでも、「繊維産業情報化実態調査」、「繊維産業取引慣行・取引条件実態調査」の両調査を通じて繊維産業の実態を把握し、各種支援施策の検討・実施に活用してまいりました。

本調査は、上記調査の継続事業であり、2 つの調査を統合し、調査間の連携を高めることで、情報化、取引慣行、業務の高度化などの視点から繊維産業各社の実態を多角的に把握・分析することを目的としております。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、本調査への積極的なご協力を賜りたく存じます。回答いただくにあたり、繊維産業全体としては、依然として以下のような課題を抱えていることをご認識いただければ幸いです（一昨年の調査結果より）。

1．取引慣行および取引条件

繊維産業の情報化が遅々として進まない要因の一つとして、取引慣行問題が大きな障害といわれています。近時は、経営トップ自らが、IT（情報技術）の導入、SCM 対応、情報共有、物流効率化の動向を見ながら、取引条件の指針・指導マニュアルを作成提示することも取引改善の有効な手段であるとの声も聞かれます。

前回の取引慣行・取引条件の実態調査結果の一部抜粋によると、「取引に深刻な影響があった取引慣行」のうち、「何らかの書面契約なし」が 27%、「自社の責任以外の理由で返品があった」が 40%、「引取り遅延があった」が 35%という結果が出ています。また、多頻度小口配送負担、歩積みなどの慣行も取引に深刻な影響があったと指摘されています。

2．情報化に関する取り組み

繊維産業の構造改革を推し進めるためには、情報化を軸とした一貫体制を確立し、受注型からの脱却を図り、SCM（サプライチェーンマネジメント）を構築することが鍵と言われています。

そうした中、繊維業界における情報化の取り組み状況を鑑みますと、「PC の普及率」は 96%と高くなっておりますが、SCM 構築に必要不可欠といわれている「EDI の利用率」は 36%、既に「SCM に取り組んでいる企業」は 12%、SCM の理解状況に至っては、「正しく理解していない、関心がない」が 85%を占める等、繊維産業においては、依然、情報化への意識が遅れている様子がうかがえます。

アンケート構成

アンケートは3部構成で全12の設問からなります。

部	設問	
	概要	
はじめに	貴社の企業規模など、各種概要についてお伺いしております。	問1．貴社業務概要
1部．取引条件の実態	貴社と販売先／仕入先との間の取引における各種条件の実態についてお伺いしております	問2．取引条件の実態
2部．業務高度化に向けた取組み状況	貴社の業務高度化に向けた取組状況を、企業内と企業間のそれぞれの視点からお伺いしております。	問3．社内の業務高度化の取組状況 問4．部門間の情報共有の状況 問5．企業間の情報共有の状況： 対販売先 問6．企業間の情報共有の状況： 対仕入先 問7．「TAプロジェクト取引ガイドライン」の導入状況 問8．「コラボレーション取引」の導入状況
3部．情報化に向けた取組み状況	貴社の情報化に向けた取組状況を、企業内と企業間のそれぞれの視点からお伺いしております。	問9．EDIの実施状況 問10．ITインフラの整備状況
おわりに	1部から3部まででカバーできていない内容について自由に記入いただきます。	問11．その他の取組状況・予定 問12．当機構へのご要望

設問ごとの望ましい回答担当者

各設問は、以下の方にご回答いただくのが望ましいと考えております。必要に応じて各担当者様毎に回答いただきますよう、よろしくお願い致します

設問	想定担当者
問1 貴社業務概要	-
問2 取引条件の実態	営業担当者 / 仕入担当者
問3 社内の業務高度化の取組状況	営業担当 / 生産・仕入担当の役職員
問4 社内の部門間の情報共有の状況	営業担当 / 生産・仕入担当の役職員
問5 企業間の情報共有の状況 ： 対販売先	営業担当の役職員
問6 企業間の情報共有の状況 ： 対仕入先	生産・仕入担当の役職員
問7 「TA プロジェクト取引ガイドライン」の導入状況	営業担当 / 生産・仕入担当の役職員
問8 「コラボレーション取引」の導入状況	営業担当 / 生産・仕入担当の役職員
問9 EDI の実施状況	営業担当 / 生産・仕入担当 / 情報システム担当の役職員
問10 IT インフラの整備状況	情報システム担当者
問11 その他の取組状況・予定	-
問12 当機構へのご要望	-

本調査で想定している「販売先」と「仕入先」（業種別）

設問によっては、販売先（発注元）と仕入先（受注元）を分けてその実態をご回答いただくこととなります。本調査で想定している代表的な販売先・仕入先を業種別に整理しておりますので、貴社から見た場合の販売先・仕入先を判断いただく際の参考としてください。

下記の表は、あくまで代表的な「販売先」「仕入先」を整理しているものであり、全てを網羅しているものではありません。

回答企業（貴社）の業種	主な販売先	主な仕入先
糸加工業	テキスタイル製造業、染色加工業 産元、コンバータ	
テキスタイル製造業	アパレル業、産元、コンバータ、商社	糸加工業、染色加工業
染色加工業	テキスタイル製造業	糸加工業
産元・コンバータ・商社	アパレル業、小売業、縫製業	テキスタイル製造業
副資材業	アパレル業、縫製業、商社	糸加工業
縫製業	アパレル業、商社	テキスタイル製造業
アパレル業	小売業	テキスタイル製造業、縫製業、商社
小売業		アパレル業、商社
S P A 業		テキスタイル製造業、縫製業、商社

用語の説明

より正確にご回答いただくために、調査表中の用語の説明を以下に記載いたします。

単語	解説
SCM	<p>サプライチェーン・マネジメント（Supply Chain Management）の略。</p> <p>生産、流通関係の企業内および取引先の当事者がパートナーシップ（協働関係）を形成し、情報技術と生産・物流・経営管理技術などを使いこなして、無駄な在庫と無駄な時間を排除し、消費ニーズに的確に対応できるようにする経営改革の仕組みを指します。経済産業省と繊維業界では現在の最重要課題としてその実現に取り組んでいます。</p>
TA プロジェクト取引ガイドライン	<p>繊維産業流通構造改革推進協議会(略称：繊維ファッション SCM 推進協議会)において取りまとめられた製品、生地、副資材、ニット素材の取引についてのガイドラインを指します。</p> <p>取引における各企業の役割、業務プロセス、共有すべき情報の内容、設定すべき業務条件について整理されています。</p>
コラボレーション取引	<p>百貨店協会とアパレル産業協会との間で合意された取引形態を指します。</p> <p>基本的考えとしては、業界間で利益を奪い合うという今までの対立の構図を改め、最終顧客である消費者の価値を最大にするために業界間でコラボレーション（協働）を行うこと、次に不確実な市場環境の中でリスクテイクが付加価値の源泉となる仕組みを構築することです。具体的には、百貨店・アパレル企業双方業務高度化に向けた各種取組を実施するとともに、契約の概念に基づいて役割と責任を明確化することで、販売機会損失の削減、対生産プロパー消化率の向上などサプライチェーン全体での利益増加を目指しています。</p>
EDI	<p>電子データ交換（Electronic Data Interchange）の略。</p> <p>商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組みを指します。受発注や見積もり、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化しネットワークを通じて送受信します。紙の伝票をやり取りしていた従来の方式に比べ、情報伝達のスピードが大幅にアップし、事務工数や人員の削減、販売機会の拡大などにつながります。最近ではインターネットの普及に伴い、通信経路にインターネットを用いることが増え、業界を超えた標準化、オープン化が進行しています。</p>

問2 - 13 貴社の仕入先（受注元）との取引について、下の設問にお答えください		
設問	回答	（「1. している」とお答えの項目について）改善するためには、どのような事柄が重要と思われますか
口頭契約書のみで、契約していますか	1. している 2. していない	
仕入先に後値決めをしていますか	1. している 2. していない	
仕入先に対して仕入れ値を上げる値引きをしていますか	1. している 2. していない	
仕入先に長期手形を発行していますか	1. している 2. していない	
仕入先に長期売掛期間を負担させていますか	1. している 2. していない	
仕入先に引き取り遅延・拒否をしていますか	1. している 2. していない	
仕入先に返品していますか	1. している 2. していない	
仕入先に多くの小口配送を要請していますか	1. している 2. していない	
仕入先に歩引・歩積を要請していますか	1. している 2. していない	
仕入先に見本品負担を要請していますか	1. している 2. していない	
仕入先に押付販売をしていますか	1. している 2. していない	
問2 - 14 中小企業基盤整備機構、繊維業界は情報化を推進していますが従来の取引慣行が情報化の妨げになっているとの声がよく聞かれます。右記の取引慣行のうち、情報化が進展すれば改善されと考えられる慣行を抽出してください（複数回答可）	1. 取引契約書の締結 2. 後値決め、値引き等の価格関連条項 3. 現金取引、手形取引等の決済条件 4. 引き取り遅延、拒否、返品等の納品関連事項 5. 歩引き、歩積み、従業員派遣、見本品負担等の営業協力関連事項 6. その他（具体的に：	
問2 - 15 他にも改善すべき取引慣行や取引条件がありましたら、具体的にお書きください		
問2 - 16 取引慣行改善に向けて、政府等公的機関に期待することがありましたら、具体的にお書きください		

第2部．業務高度化に向けた取組み

第2部では、情報共有や先進的な取引形態などの業務高度化に向けた取組みについてお伺いします

繊維産業においては、市場の動きが激しく、商品の多品種・ライフサイクルの短期化が進んできております。このため、常に需要が不確実であることを前提としたビジネスを実行していかなければならない状況にあります。このような市場動向に対応するための貴社における業務高度化に向けた取組概要についてお伺いします

3．全業種の方対象

【社内の業務高度化の取組状況】自社内の業務高度化に向けた取組についてお伺いします

問3 - 1 業務高度化への取組実施の有無についてお伺いします

- 1．特に取組みは行っていない——▶ 問4へお進みください
- 2．各担当者レベルで個別に実施している
- 3．課・部門単位に業務改革に取り組んでいる
- 4．全社的に業務改革に取り組んでいる

(問3 - 1で「2」～「4」とお答えの方)

問3 - 2 業務高度化に向けた組織体制についてお伺いします

- 1．業務改革に向けた組織設立は特に行っていないが、各部門別に個別に取り組んでいる
- 2．部門ごとに業務改革に向けた組織が存在している
- 3．部門横断的な全社業務改革に取り組む推進組織が存在している
- 4．取引先も取り込んだ検討体制を構築しており、企業間まで含んだ業務改革に取り組む推進組織が存在している

問3 - 3 業務高度化に向けた組織の有効性についてお伺いします

- 1．有効に機能している
- 2．ある程度は有効に機能している
- 3．ほとんど(全く)有効に機能していない

4. 全業種の方対象

【部門間の情報共有状況】情報共有化は業務高度化のための基礎的事項とされています。業務高度化に向けた社内部門間（販売部門と生産・仕入部門間）の情報共有の取組みについてお伺いします。ここでいう「仕入」は、製品もしくは資材の仕入・調達を指します

問4-1 部門間の情報共有実施の有無についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 部門間での情報共有を実施している
2. 部門間での情報共有は実施していない → 問4-6へお進みください |
|--|

（問4-1で「1」とお答えの方）

問4-2 企業内の部門間の情報共有の体制についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 担当者が単独で必要な情報を収集している
2. 課・部門単位で必要と考えられた情報を共有している
3. 全社的に部門間で情報共有する内容が定義されている |
|--|

問4-3 下記の情報項目のうち、部門間で共有している情報項目の番号に をつけてください（回答欄1）。さらに、その活用分野として該当するものを選択肢 ~ から選び、その番号に を付けてください（回答欄2）。（回答欄1、2ともに複数回答可）

情報項目 (回答欄1)	活用分野 (回答欄2)			
	販売計画の 立案・修正	生産計画の 立案・修正	資材等調達計 画の立案・修正	その他 (具体的に：)
1. 製品在庫				()
2. 販売実績				()
3. 販売計画				()
4. 生産進捗情報 (仕掛在庫、仕上予定日等)				()
5. 生産計画				()
6. 資材等調達計画				()
7. 資材等の調達実績 (資材在庫、資材到着予定日等)				()
8. その他 (具体的に：)				()

問4 - 4 情報共有の効果についてお伺いします

- 1. ほとんど(全く)効果がなかった → 問4 - 5へお進みください
- 2. 効果はあったがコストの方が上回った → 問5へお進みください
- 3. コストを上回る効果が得られた → 問5へお進みください

問4 - 5 情報共有の効果を得られなかった理由についてお伺いします

- 1. 共有される情報が必ずしも最新のものではなかったため、役に立たなかった
- 2. 共有された情報を十分に活用するための仕組み/ノウハウがなかった
- 3. その他(具体的に:)

→ 問5へお進みください

(問4 - 1で「2」とお答えの方)

問4 - 6 情報共有に関するこれまでの経緯についてお伺いします

- 1. 過去に実施を検討したことも、実施したこともない → 問5へお進みください
- 2. 過去に実施を検討したことがあるが、採用されなかった → 問4 - 7へお進みください
- 3. 過去に実施したことがあるが、後に廃止された → 問4 - 8へお進みください

(問4 - 6で「2」とお答えの方)

問4 - 7 情報共有の実施を検討したにもかかわらず、採用されなかった理由についてお伺いします

- 1. 費用対効果がわからない、もしくは低いと判断した
- 2. 各部門の協力が得られなかった
- 3. 導入に向けた対応の具体的手順がわからなかった
- 4. その他(具体的に:)

→ 問5へお進みください

(問4 - 6で「3」とお答えの方)

問4 - 8 以前情報共有を行っていたにもかかわらず、廃止された理由についてお伺いします

- 1. ほとんど(全く)効果がなかった
- 2. 効果はあったが業務負荷の増加の方が上回った
- 3. その他(具体的に:)

→ 問5へお進みください

5. 小売業・SPA業以外の業種の方（問1 - 4において、1～7を選択された企業の方）対象
 小売業・SPA業の方は設問6へお進みください。

【企業間の情報共有の状況： 対販売先】情報業務高度化に向けた販売先との情報共有に向けた取組みについてお伺いします。

問5 - 1 販売先との情報共有実施の有無についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 販売先との情報共有を実施している
2. 販売先との情報共有は実施していない → 問5 - 7へお進みください |
|--|

（問5 - 1で「1」とお答えの方）

問5 - 2 販売先との情報共有に関する契約の有無についてお伺いします

- | |
|---|
| 1. 企業間で情報共有するという明文化された契約は存在しない
2. 企業間で情報共有するという明文化された契約が存在する |
|---|

問5 - 3 販売先との情報共有の体制についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 現場が必要と考えた情報について現場レベルで個別に共有されている
2. 共有された情報を基に販売先と協働で意思決定がされている |
|--|

問5 - 4 下記の情報項目のうち、企業間で共有している情報項目の番号に をつけてください(回答欄1)。
 さらに、その活用分野として該当するものを選択肢 ~ から選び、その番号に を付けてください(回答欄2)。(回答欄1、2ともに複数回答可)

情報項目 (回答欄1)	活用分野 (回答欄2)			
	販売計画の 立案・修正	生産計画の 立案・修正	資材等調達計 画の立案・修正	その他 (具体的に：)
1. 製品在庫				()
2. 販売実績				()
3. 販売計画				()
4. 生産進捗情報 (仕掛在庫、仕上予定日等)				()
5. 生産計画				()
6. 資材等調達計画				()
7. 資材等の調達実績 (資材在庫、資材到着予定日等)				()
8. その他 (具体的に：)				()

問5 - 5 情報共有の効果についてお伺いします

1. ほとんど(全く)効果がなかった → 問5 - 6へお進みください
2. 効果はあったがコストの方が上回った → 問6へお進みください
3. コストを上回る効果が得られた → 問6へお進みください

(問5 - 5で「1」とお答えの方)

問5 - 6 情報共有の効果を得られなかった理由についてお伺いします

1. 共有される情報が必ずしも最新のものではなかったため、役に立たなかった
 2. 共有された情報を十分に活用するための仕組み/ノウハウがなかった
 3. その他(具体的に:)
- 問6へお進みください

(問5 - 1で「2」とお答えの方)

問5 - 7 情報共有に関するこれまでの経緯についてお伺いします

1. 過去に実施を検討したことも、実施したこともない → 問6へお進みください
2. 過去に実施を検討したことがあるが、採用されなかった → 問5 - 8へお進みください
3. 過去に実施したことがあるが、後に廃止された → 問5 - 9へお進みください

(問5 - 7で「2」とお答えの方)

問5 - 8 情報共有の実施を検討したにもかかわらず、採用されなかった理由についてお伺いします

1. 自社業務では、企業間の情報共有は必要ないと判断された
 2. 費用対効果が低いと判断した
 3. 販売先が情報提供に応じてくれない
 4. 情報共有に向けた対応の具体的手順がわからなかった
 5. 情報共有よりも優先すべき事項があった
 6. その他(具体的に:)
- 問6へお進みください

(問5 - 7で「3」とお答えの方)

問5 - 9 以前情報共有を行っていたにもかかわらず、廃止された理由についてお伺いします

1. 想定していたメリットが得られなかった
 2. 情報共有よりも効果的な手法を選択した
 3. 業務が煩雑になり、作業負荷が高まった
 4. その他(具体的に:)
- 問6へお進みください

6. 全業種の方対象

【企業間の情報共有の状況： 対仕入先】情報業務高度化に向けた仕入先との情報共有に向けた取り組みについてお伺いします

問6-1 仕入先との情報共有実施の有無についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 仕入先との情報共有を実施している
2. 仕入先との情報共有は実施していない → 問6-7へお進みください |
|--|

(問6-1で「1」とお答えの方)

問6-2 仕入先との情報共有に関する契約の有無についてお伺いします

- | |
|---|
| 1. 企業間で情報共有するという明文化された契約は存在しない
2. 企業間で情報共有するという明文化された契約が存在する |
|---|

問6-3 仕入先との情報共有の体制についてお伺いします

- | |
|--|
| 1. 現場が必要と考えた情報について現場レベルで個別に共有されている
2. 共有された情報を基に販売先と協働で意思決定がされている |
|--|

問6-4 下記の情報項目のうち、企業間で共有している情報項目の番号に をつけてください(回答欄1)。さらに、その活用分野として該当するものを選択肢 ~ から選び、その番号に をつけてください(回答欄2)。(回答欄1、2ともに複数回答可)

情報項目 (回答欄1)	活用分野 (回答欄2)			
	販売計画の 立案・修正	生産計画の 立案・修正	資材等調達計 画の立案・修正	その他 (具体的に：)
1. 製品在庫				()
2. 販売実績				()
3. 販売計画				()
4. 生産進捗情報 (仕掛在庫、仕上予定日等)				()
5. 生産計画				()
6. 資材等調達計画				()
7. 資材等の調達実績 (資材在庫、資材到着予定日等)				()
8. その他 (具体的に：)				()

問6 - 5 情報共有の効果についてお伺いします

1. ほとんど(全く)効果がなかった → 問6 - 6へお進みください
2. 効果はあったがコストの方が上回った → 問7へお進みください
3. コストを上回る効果が得られた → 問7へお進みください

(問6 - 5で「1」とお答えの方)

問6 - 6 情報共有の効果を得られなかった理由についてお伺いします

1. 共有される情報が必ずしも最新のものではなかったため、役に立たなかった
 2. 共有された情報を十分に活用するための仕組み/ノウハウがなかった
 3. その他(具体的に:)
- 問7へお進みください

(問6 - 1で「2」とお答えの方)

問6 - 7 情報共有に関するこれまでの経緯についてお伺いします

1. 過去に実施を検討したことも、実施したこともない → 問7へお進みください
2. 過去に実施を検討したことがあるが、採用されなかった → 問6 - 8へお進みください
3. 過去に実施したことがあるが、後に廃止された → 問6 - 9へお進みください

(問6 - 7で「2」とお答えの方)

問6 - 8 情報共有の実施を検討したにもかかわらず、採用されなかった理由についてお伺いします

1. 自社業務では、企業間の情報共有は必要ないと判断された
 2. 費用対効果が低いと判断した
 3. 販売先が情報提供に応じてくれない
 4. 情報共有に向けた対応の具体的手順がわからなかった
 5. 情報共有よりも優先すべき事項があった
 6. その他(具体的に:)
- 問7へお進みください

(問6 - 7で「3」とお答えの方)

問6 - 9 以前情報共有を行っていたにもかかわらず、廃止された理由についてお伺いします

1. 想定していたメリットが得られなかった
 2. 情報共有よりも効果的な手法を選択した
 3. 業務が煩雑になり、作業負荷が高まった
 4. その他(具体的に:)
- 問7へお進みください

これまで、市場環境の変化に対応するための繊維産業の業界内における取引／業務モデルの改善に関する取組みが行われております。これらの取引／業務モデルについてお伺いします

7. 小売業以外の業種の方（問1 - 4において、1～7、9を選択された企業の方）対象
小売業の方は設問8にお進みください

【「TAプロジェクト取引ガイドライン」の導入状況】生地・副資材・ニットにおける資材・製品売
買の取引／業務モデルの改善方策として、繊維産業流通構造改革推進協議会が事務局となり、TA
プロジェクト取引ガイドラインが策定されております。このガイドラインについてお伺いします

問7 - 1 TAプロジェクト取引ガイドラインの導入状況についてお伺いします

- 1. 既に導入している
- 2. 過去に導入したが、現在は活用されていない
- 3. 現在導入中である ——▶ 問8へお進みください
- 4. まだ導入していない ——▶ 問7 - 4へお進みください

（問7 - 1で「1」または「2」とお答えの方）

問7 - 2 TAプロジェクト取引ガイドラインの導入による効果の有無についてお伺いします

- 1. ほとんど（全く）効果がなかった ——▶ 問7 - 3へお進みください
- 2. 効果はあったがコストの方が上回った ——▶ 問8へお進みください
- 3. コストを上回る効果が得られた ——▶ 問8へお進みください

（問7 - 2で「1」とお答えの方）

問7 - 3 TAプロジェクト取引ガイドラインの導入による効果が得られなかった理由はどのようなところ
にあるとお考えですか。具体的にお書きください

——▶ 問8へお進みください

（問7 - 1で「4」とお答えの方）

問7 - 4 TAプロジェクト取引ガイドラインの導入に向けた対応をしていない理由をお聞かせください（複
数の理由がある場合は、順番をつけてご回答ください）

- 1. TAプロジェクト取引ガイドラインの内容自体を十分に理解していない
- 2. 自社にとって導入によりどのようなメリットがあるのかよくわからない
- 3. 取引先が導入に応じてくれない
- 4. 導入に向けた対応の具体的手順がわからない
- 5. 自社では、より高度なビジネスモデルを導入しており、TAプロジェクト取引ガイドラインの導入は必要がない
- 6. その他（具体的に： _____）

順位	1位	2位	3位	4位	5位
回答					

8. アパレル業、小売業の方（問1 - 4において、7または8を選択された企業の方）対象
アパレル業、小売業以外の方は設問9にお進みください

【「コラボレーション取引」の導入状況】アパレル業と小売業における製品売買の取引 / 業務モデルの改善方策として、（社）日本アパレル産業協会と百貨店協会が共同で定めたコラボレーション取引が策定されております。このコラボレーション取引についてお伺いします

問8 - 1 コラボレーション取引の導入状況についてお伺いします

- 1. 既に導入している
- 2. 過去に導入したが、現在は活用されていない
- 3. 現在導入中である ——▶ 問9へお進みください
- 4. まだ導入していない ——▶ 問8 - 4へお進みください

（問8 - 1で「1」または「2」とお答えの方）

問8 - 2 コラボレーション取引の導入による効果の有無についてお伺いします

- 1. ほとんど（全く）効果がなかった ——▶ 問8 - 3へお進みください
- 2. 効果はあったがコストの方が上回った ——▶ 問9へお進みください
- 3. コストを上回る効果が得られた ——▶ 問9へお進みください

（問8 - 2で「1」とお答えの方）

問8 - 3 コラボレーション取引の導入による効果が得られなかった理由はどのようなところにあるとお考えですか。具体的にお書きください

——▶ 問9へお進みください

（問8 - 1で「4」とお答えの方）

問8 - 4 コラボレーション取引の導入に向けた対応をしていない理由をお聞かせください（複数の理由がある場合は、順番をつけてご回答ください）

- 1. コラボレーション取引の内容自体を十分に理解していない
- 2. 自社にとって導入によりどのようなメリットがあるのかよくわからない
- 3. 取引先が導入に応じてくれない
- 4. 導入に向けた対応の具体的手順がわからない
- 5. 自社では、より高度なビジネスモデルを導入しており、コラボレーション取引の導入は必要がない
- 6. その他（具体的に： _____）

順位	1位	2位	3位	4位	5位
回答					

第3部．情報化に向けた取組み

第3部では、情報化に向けた取組みについてお伺いします

9．全業種の方対象

【EDIの実施状況】企業間の情報のやりとりを支える技術であるEDIの実施状況についてお伺いします

問9 - 1 EDIがどのようなものかをご存知ですか

- 1．知っている
- 2．知らない——▶ 問10へお進みください

(問9 - 1で「1」とお答えの方)

問9 - 2 実際に取引先とEDIを実施していますか

- 1．実施している
- 2．実施していない——▶ 問9 - 7へお進みください

問9 - 3 EDIを実施しているのは、全伝票件数のうちどれくらいの割合ですか

おおよそ_____%

問9 - 4 受発注伝票の電子化以外にEDIによって情報交換している情報内容についてお知らせください

- 1．受発注情報（受発注伝票の電子化）以外に関しては、EDIによって共有していない
- 2．製品在庫
- 3．販売実績
- 4．販売計画
- 5．生産進捗情報（仕掛かり在庫、仕上がり予定日等）
- 6．生産計画
- 7．資材等調達計画
- 8．資材等の調達実績（資材在庫、資材到着予定日等）
- 9．その他（具体的に： _____)

問9 - 5 EDI を実施した成果についてお伺いします

- 1 . 期待以上の成果だった
- 2 . 期待通りの成果があがっている
- 3 . 成果は期待ほどではないがある
- 4 . 成果はあがっていない ——▶ 問10 へお進みください

(問9 - 5で「1」～「3」とお答えの方)

問9 - 6 成果があがっているのは主にどの分野ですか(複数回答可)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 . 売上の増加 | 5 . 物流の迅速化 |
| 2 . 在庫の減少 | 6 . 経理処理の迅速化 |
| 3 . 見切り処分の減少 | 7 . 商品企画の的確化 |
| 4 . 納期の短縮化 | 8 . その他(具体的に:) |

——▶問10 へお進みください

(問9 - 2で「2」とお答えの方)

問9 - 7 EDI の有効性についてお伺いします

- 1 . 自社でも実施すればメリットが期待できる
- 2 . 一般的にはメリットをもたらすと考えられるが、自社ではメリットを期待できない
- 3 . どのようなメリットがあるのかよくわからない

問9 - 8 今後 EDI を実施する計画はありますか

- 1 . 具体的な実施計画がある ——▶ 問10 へお進みください
- 2 . 実施の予定だが、まだ具体的ではない
- 3 . 実施計画はない

(問9 - 8で「2」または「3」とお答えの方)

問9 - 9 自社において導入に積極的になれない理由についてお伺いします(複数回答可)

- 1 . 現在、取引先と行っている受発注や情報交換の方法で十分だから
(現在の方法:)
- 2 . 導入の具体的手順がわからないから
- 3 . EDI の利用方法がわからないから
- 4 . 初期導入コストに見合わなそうだから
- 5 . 保守運用コストが高そうだから
- 6 . トラブル発生時のリスクが高そうだから
- 7 . 取引先の要請がないから
- 8 . 業界標準が定まっていないから
- 9 . 単なる受発注の電子化だけでは効果は期待できないから
- 10 . その他(具体的に:)

ITインフラの整備状況についてお伺いします。もしわからない場合には、貴社内の情報システムのご担当者様に問い合わせをいただき、ご回答をいただくようお願い申し上げます

10. 全業種の方対象

【ITインフラの整備状況】PC・ソフトウェアの利用状況についてお伺いします

問10-1 貴社がパソコンを使用している業務分野は何ですか（複数回答可）

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 一般文書作成 | 6. 仕入分野 |
| 2. 経理・財務分野 | 7. 在庫管理分野 |
| 3. 人事・労務分野 | 8. 物流分野 |
| 4. 生産分野 | 9. 商品企画分野（CAD、CAM含む） |
| 5. 販売分野 | 10. その他（インターネット、eメール等） |

問10-2 貴社が業務に使用しているソフトはどのような方法で調達しましたか（複数回答可）

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 市販のソフトを購入し、そのまま使用 | → 問10-3 問11の順にお進みください |
| 2. 市販のソフトを購入し、カスタマイズして使用 | → 問10-3へお進みください |
| 3. 親企業や取引先から指定されたソフトを使用 | → 問10-8へお進みください |
| 4. 自社で独自に開発したソフトを使用 | → 問10-9へお進みください |
| 5. ソフト会社などに委託して自社用開発させたソフトを使用 | → 問10-9へお進みください |

（問10-2で「1」または「2」とお答えの方）

問10-3 どのようなソフトを購入しましたか（複数回答可）

- | （汎用ソフト） | （業務ソフト） |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. ワードプロソフト | 8. 経理・財務ソフト（会計ソフト） |
| 2. 表計算ソフト | 9. 人事・労務ソフト（給与計算ソフト） |
| 3. データベースソフト | 10. 生産管理ソフト |
| 4. プレゼンテーションソフト | 11. 販売管理ソフト |
| 5. DTPソフト | 12. 仕入管理ソフト |
| 6. ホームページ作成ソフト | 13. 在庫管理ソフト |
| 7. セキュリティ（アンチウィルス）ソフト | 14. 物流管理ソフト |
| | 15. 商品企画・設計ソフト（CAD・CAM含む） |
| | 16. 統合業務ソフト |
| | 17. その他（具体的に： _____） |

(問 10 - 2 で「 2 」とお答えの方)

問 10 - 4 どのようなソフトをカスタマイズしましたか (複数回答可)

(汎用ソフト)

1. ワードソフト
2. 表計算ソフト
3. データベースソフト
4. プレゼンテーションソフト
5. DTP ソフト
6. ホームページ作成ソフト
7. セキュリティ (アンチウィルス) ソフト

(業務ソフト)

8. 経理・財務ソフト (会計ソフト)
9. 人事・労務ソフト (給与計算ソフト)
10. 生産管理ソフト
11. 販売管理ソフト
12. 仕入管理ソフト
13. 在庫管理ソフト
14. 物流管理ソフト
15. 商品企画・設計ソフト (CAD・CAM 含む)
16. 統合業務ソフト
17. その他 (具体的に:)

問 10 - 5 どのようなカスタマイズを実施しましたか (複数回答可)

1. 基幹システムとのインターフェースを確保するためのカスタマイズ
2. 入力画面を使用しやすくするためのカスタマイズ
3. 入力項目の下図や名称を業務に合わせるためのカスタマイズ
4. 出力画面を使用しやすくするためのカスタマイズ
5. 出力データの数や名称を業務に合わせるためのカスタマイズ
6. 出力帳票の種類や様式などを業務に合わせるためのカスタマイズ
7. その他 (具体的に:)

問 10 - 6 カスタマイズはどのように行いましたか (複数回答可)

1. 基本的に自社でカスタマイズ
2. 自社カスタマイズ中心だが、一部に外注もある
3. 外注中心だが、一部に自社カスタマイズもある
4. 基本的に外注でカスタマイズ

問 10 - 7 お差し支えなければ主な外注先と概算のカスタマイズ費用をお示してください

外注先社名:

所在地 (都道府県):

カスタマイズ費用: 約 円

——→問 11 へお進みください

(問 10 - 2 で「 3 」とお答えの方)

問 10 - 8 親会社や取引先から指定されたソフトを使用している方にお伺いします。使用しているのはどの業務分野のソフトですか(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 . 取引先との情報交換ソフト (EDI) | 6 . 在庫管理ソフト |
| 2 . 経理・財務分野ソフト | 7 . 物流管理ソフト |
| 3 . 生産管理ソフト | 8 . 商品企画ソフト (CAD、CAM 含む) |
| 4 . 販売管理ソフト | 9 . その他 (具体的に：) |
| 5 . 仕入管理ソフト | |

——▶ 問 11 へお進みください

(問 10 - 2 で「 4 」または「 5 」とお答えの方)

問 10 - 9 どのような業務分野でソフトを開発しましたか(複数回答可)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 . 一般文書作成 | 7 . 在庫管理分野 |
| 2 . 経理・財務分野 | 8 . 物流分野 |
| 3 . 人事・労務分野 | 9 . 商品企画分野 (CAD、CAM 含む) |
| 4 . 生産分野 | 10 . 取引先との情報交換 (EDI) |
| 5 . 販売分野 | 11 . その他 (具体的に：) |
| 6 . 仕入分野 | |

問 10 - 10 開発はどのように行いましたか

- | |
|-----------------------|
| 1 . 基本的に自社で開発 |
| 2 . 自社開発中心だが、一部に外注もある |
| 3 . 外注中心だが、一部に自社開発もある |
| 4 . 基本的に外注で開発 |

問 10 - 11 お差し支えなければ主な外注先と概算の開発費用をお示しください

外注先社名：
所在地(都道府県)：
開発費用：約 円

問 10 - 12 貴社では基幹システムにホストコンピューター(汎用コンピューター)を使用していますか

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1 . 使用している | 2 . 使用していない——▶ 問 11 へお進みください |
|------------|------------------------------|

(問 10 - 12 で「 1 」とお答えの方)

問 10 - 13 基幹システムをホストからパソコン等に移行する計画はありますか

- | |
|----------------------|
| 1 . 移行する具体的計画がある |
| 2 . 移行の予定だがまだ具体的ではない |
| 3 . 移行の予定は無い |

《おわりに》

11. 全業種の方対象

問1～10でご回答いただいた取組みの他に、将来へ向けた皆様の取組みやお考えをお伺いします。

問11 - 1 今回アンケートで調査したTAプロジェクト取引ガイドラインやコラボレーション取引以外に、現在進めているあるいは今後進める予定のある、業務高度化に向けた取組があればその概要をお書きください

問11 - 2 問11-1のご回答のうち、アプリケーション/ソフトウェアによる導入支援を検討しているものがあれば、お書きください

12. 全業種の方対象

最後に、当機構に対するご意見をお伺いします

問12 - 1 当中小機構繊維産業課では、繊維産業における業務の高度化ならびに情報化を促進するため、繊維業界における業務高度化ならびに情報化の先進事例や導入に際しての問題等に関するセミナーの開催、情報化の普及促進に活用するテキストの開発などの事業を実施しています。今後、当中小機構にどのような繊維産業の支援活動を望まれるかなど、ご意見を自由にお書き下さい（箇条書き）